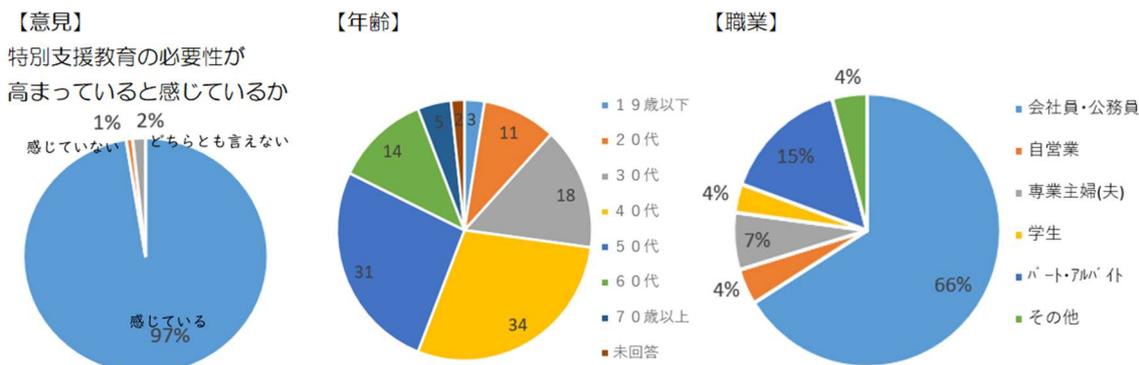


## 特別支援教育推進計画中間案に係るパブリックコメントの結果概要

### 1 パブリックコメントの結果

(1) 実施機関：令和5年4月13日（木）から5月12日（金）まで

(2) 応募者数：118名 意見数：108件



(3) パブリックコメントの主な意見

- 多様な学び方を認めてそれを充実させたり、合理的な配慮をしてくれるのは、とてもありがたい。
- 指導の個別化、学習の個性化について、今後の学び方で重要になってくると思う。
- 全ての教職員が、特別支援教育の理解を深め、学校体制として支援を検討、実施できることを期待する。
- 特別支援学級担任が孤立しないよう、学校全体での支援体制の整備が重要だと思う。
- 子どもや保護者の期待に応えるためにも、教員の専門性の向上は喫緊の課題である。
- 教員や子どもを取り巻く環境を整備することが大切。多くの教員が特別支援への知識を持てるような勉強会などの設定を希望する。
- しっかりと引継ぎが行われ、親と先生が共有できるサポートファイル（個別の教育支援計画）が必要である。
- 学校間、保護者共に子ども自身のために情報共有していけるとよい。
- 個に合った指導・支援には、先生、支援員の数を増やすことが不可欠。
- 支援学級の児童生徒数が増えている現状に対して支援員の見直しと書かれていたが、早急に考える課題である。

### 2 パブリックコメントの結果の評価と今後の対応

多くの方よりご意見をいただきました。特別支援教育支援員の増員、学校全体の支援体制の充実、全教職員に対する特別支援教育の専門性強化については、それぞれに配置基準

の見直し、対象児童生徒の増加に応じた増員、管理職を始めキャリアステージに応じた研修の実施、全教職員を対象とした悉皆研修の実施といった形で、既に実施を進めており、今後も引き続き、より学校現場の教職員が支援を行いやすい環境づくりに努めてまいります。

特別支援教育推進計画に関しては、上位計画である、教育振興基本計画や総合計画の見直しの動きや、教育大綱の策定があり、前提条件が定まらなかったこと、また、計画の内容が理念を示すものであり、今後は、特別支援教育を特別なこどもに対して行うのではなく、全てのこどもに対して個にあった支援を目指すこととしたため、個別計画としての策定は見送り、いただきましたご意見については、特別支援の理念を教育全体に定着できるよう、上位計画である教育振興基本計画にその要素を盛り込むこととします。